

科名 血液内科 血内204  
 対象疾患名 悪性リンパ腫  
 プロトコール名 Pola+CHP

Rp	形態	ルート	薬剤名	投与量	時刻・コメント	1	2	3	4	5	…	21
1	点滴注	メイン	生食	500mL	ルートキープ 残破棄可	↓						
2	点滴注	側管	グラニセトン プレドニゾン注	1mg 10~100mg	30分							
3	点滴注	側管	又は パロノセトン プレドニゾン注	0.75mg 10~100mg	30分	↓						
4	点滴注	側管	ポライビー 注射用水 生理食塩液	1.8mg/kg 1.8mL 100mL	初回90分忍容性 良好であれば30分 投与1時間~30分前 に前投薬内服	↓						
5	点滴注	側管	ドキシソルビシン注 生理食塩液	50mg/m2 100mL	30分かけて ※壊死性抗癌剤	↓						
6	点滴注	側管	エンドキサン注 生理食塩液	750mg/m2 500mL	原則3時間かけて	↓						
7	点滴注	側管	プレドニゾン注 5%ブドウ糖液	10~100mg 50mL	15分かけて		↓	↓	↓	↓		
8		経口	プレドニゾン	10~100mg		↓	↓	↓	↓	↓		

1コース=21日間

~MEMO~

<中等度催吐リスク30-90%>

- ・リツキシマブと併用。
- ・6コースまで。7.8コース目はリツキシマブ単剤投与。
- ・内服不能の場合、プレドニゾロンは点滴注

<ポライビー>

- ・0.2又は0.22µmインラインフィルター使用
- ・ポライビー投与前1時間~30分前に前処置薬として、アセトアミノフェン0.5g/回とポララミン(2)1T/回を内服すること。
- ・infusion reactuinが発現した場合の休薬、減量、中止の目安

Grade1又は2: Grade1又はベースラインに回復するまで休薬又は本剤の投与速度を下げる。  
 →症状が回復した場合元の投与速度で投与を再開する。

Grade3: Grade1又はベースラインに回復するまで休薬→症状が回復した場合休薬前の1/2の投与速度で再開→再開後infusion reactionが認められない場合投与速度を30分ごとに50mg/時ずつ上げることが出来る。

Grade4: 投与を中止する。

※GradeはNCI-CTCAE v4.03に準じる